

関西教育行政学会

会 報

第 3 号

The Kansai Society for Educational Administration

〒606-8501

京都市左京区吉田本町
京都大学大学院教育学研究科
教育行政学研究室 気付

関西教育行政学会事務局

Mail: kansaisea@gmail.com

HP: <http://ksea.jp/>

6 月例会のご案内

6 月例会は下記の要領で開催いたします。

※4 月例会での案内時から変更がございます。

【日時】 令和 8 年 6 月 20 日（土）午後 2 時から午後 5 時まで

【場所】 京都大学吉田キャンパス総合研究 2 号館第一講義室（Zoom 併用）

【報告】 「学校運営費における公費負担費目の設定に関する考察」

下山 海咲 会員（京都大学大学院・院生）

「徳川家の学問と教育 ―紀州徳川家の文治主義と学問を中心に―」

木本 毅 会員（和歌山信愛大学）

【会場案内】 〒606-8501 京都市左京区吉田本町（総合研究 2 号館は、下図 34 の建物です。）



上図は、京都大学 HP (http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_y.htm)より引用しました。

【オンライン参加】 本例会では、オンライン会議システム「Zoom」を使用いたします。以下の URL よりご参加ください。

※下記 URL より Zoom の使用方法に関する資料をご参照いただけます。

【発表資料】 資料は下記の URL よりダウンロードしてください。資料は当日の報告までにアップロードされます。

■□■□■□■□■□ ■ 事務局より ■□■□■□■□■□■□■

【理事会報告】

2026 年度第 1 回理事会が、4 月 18 日（土）に京都大学吉田キャンパスにて開催されました。

〈報告事項〉

- 会員異動について
退会、除籍、入会について承認を行いました。

〈審議事項〉

- 大会について
今年度の大会担当理事については、竺沙会長代行が担当することとなりました。
次回以降の理事会にて、日程やシンポジウムについて審議されることとなりました。
- 選挙について
今年度の選挙についてスケジュールを確認し、例年通り進めることが確認されました。
選挙管理委員の候補者が推薦され、今後依頼を行うこととなりました。
- 研究推進企画について
研究推進担当の宮村理事から、今年度の研究推進企画案について、説明があり、意見交換がされました。次回以降の理事会で詳細について議論を行うこととなりました。
また、研究助成事業については、例年通り実施することとなりました。

【会員異動】

〈退会〉

浅野 良一

〈除籍〉

5 名

〈入会〉

金原 猛浩 （京都大学・研究生） 【推薦者：開沼太郎（京都大学）】
下山 海咲 （京都大学大学院・院生） 【推薦者：開沼太郎（京都大学）】

【4月例会の動画公開について】

4月例会の様子を収録した動画を YouTube に公開いたしました。下記の URL より視聴いただけます。

なお、動画の公開は5月末までとさせていただきます。5月以降に動画の視聴を希望される場合は、事務局までお申し出ください。視聴方法をご連絡いたします。

【名簿作成に関して事務局からのお願い】

後日、名簿作成のため、所属、住所、メールアドレス等のご変更について、確認をさせていただきます。お手数ですが変更の有無にかかわらず、メールでの案内に従ってご対応ください（郵送会員の方は別途ご案内いたします）。

その際、登録情報の確認が必要な方は事務局までご連絡いただければご案内いたしますのでお申し付けください。

【今年度の事務局体制について】

事務局幹事：松本 圭将 会員（2020年4月1日～）

事務補佐：岡 弘明 会員（2025年4月1日～）

下山 海咲 会員（2026年4月1日～）

【例会報告のお願い】

例会報告について、会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

報告をご希望の方は、例会担当の浅田理事、宮村理事もしくは事務局までご連絡をお願いいたします。

【会費納入のお願い】

2026年度学会費の納入をお願いいたします。一般会員は7,000円、学生会員は3,500円です。なお、名誉会員については学会費の納入は不要です。

会費の納入状況につきましては、遠慮なく事務局までお問い合わせください。

郵便振替口座番号：01000-8-34227 加入者名：関西教育行政学会

他の金融機関から当学会郵便振替口座へお振込みをしていただく際は、以下の振込用の店名・預金種目・口座番号・受取人名をご指定ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	109
店名（カナ）	一〇九店（イチゼロキュウ店）
預金種目	当座
口座番号	0034227
カナ氏名 （受取人名）	カンサイキョウイクギョウセイガツカイ （全て大文字）

【事務局からのお願い】

所属、住所、メールアドレス等が変更になりましたら、お手数ですが事務局までご一報ください。

【事務局の連絡先】

住所：〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院教育学研究科内

電話：075-753-3080

Mail：kansaisea@gmail.com

【例会報告概要】

4 月例会	4 月 18 日（京都大学吉田キャンパス総合研究 2 号館第一講義室） 【司会】宮村裕子（京都産業大学）
【報告】 崔 秀妍 会員（京都大学大学院教育学研究科） 課外活動に対する教員の認識に関する比較研究 ―中国と日本の小学校教員へのインタビュー調査をもとに―	
本報告は、中国と日本における課外活動政策を対象に、教員がそれらをどのように受け止めているのかを、「負担」感と「価値」認識の観点から比較検討するものである。中国では「双減政策」のもと、学校主導で放課後サービスが制度化されている。一方、日本では働き方改革を背景に、部活動や放課後活動の地域移行が進められている。両国は対照的な制度設計を有するが、いずれも放課後の子どもの支援という共通課題に直面している。 本研究では、中国の小学校教員 6 名、日本の小学校教員 8 名に半構造化インタビューを実施し、課外活動を「居場所づくり」「学習指導」「体験的活動」に分類して分析した。その結果、日本では学習指導には高い価値が認識される一方、保育的活動や部活動には高い負担感が示され、外部化を支持する傾向がみられた。中国では負担感は大きいものの、学習支援や体験活動に教育的価値を見出し、比較的受容的に捉える傾向が確認された。 本報告では、こうした差異の背景にある職務観、専門性、制度的責任構造について考察し、課外活動政策における教員認識の重要性を検討する。	
【報告】 鈴木 麻里子 会員（流通経済大学） ゲーミフィケーションの理論的再検討 ―教育制度における学修体験設計の可能性―	
本報告は、近年の高等教育改革により大学が類型化され、とりわけ「教育提供型」の大学が多様な学生の受け皿として位置付けられる状況を背景に、大学を「学修を成立させる場」として再定義し、学修体験を UX の観点から再解釈することを目的とする。従来の知識伝達中心の教育枠組みは、学修者の多様化に十分に応答し得るとは言い難い。加えて、大学教育制度は依然として一律的な履修構造や評価体系を前提とし、多様な学修過程を包括しにくい構造的制約を内在している。なかでも、学修成果の可視化や標準化を前提とする評価構造は、失敗と再試行を通じて段階的に進行する学修プロセスを前提としておらず、その運用は学修の進行構造に対応していない。そこで、学修を経験の連鎖として捉え、「Trigger」「Action」「Feedback」「Meaning」の構造として定式化した。さらに、当該構造に対応する設計技術として、「ゲーミフィケーション」を位置付けた。ただし、本報告はゲーム要素の付加としてではなく、学修過程の構造設計としてこれを再検討する点に特徴がある。加えて、「UGC プラットフォーム」、「アバター」、「クエスト」等の設計原理を提示し、学修 UX の実装による「メタ学習」への接続可能性を考察するとともに、学修者と教員の非対称性のもとで主体的参画を促すことの制度的制約を課題として提示した。	